

平成 29 年度 第3回 政策調整会議 会議録①

◆開催日時:平成 29 年7月6日(木) 9:30~10:00

◆開催場所:第2委員会室

◆出席委員:大原副市長、根末副市長、樋口教育長、藤原市長公室長、藤浪企画調整部長、
大西総務部長

◆審議事項

・平成 30 年度国家予算に対する要望について……………企画課

⇒承認

・平成 30 年度大阪府予算に対する要望について……………企画課

⇒承認

◆審議概要

『平成 30 年度国家予算に対する要望について』

『平成 30 年度大阪府予算に対する要望について』

〈説 明 者〉上東企画課長、中井政策企画担当長、芝野主任

◎付議依頼書に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈市長公室長〉要望する項目は昨年度と同じとのことだが、要望の成果、事業への影響は如何。

〈企画課長〉項目は同じだが、各事業の進捗状況に応じ、要望の内容は変更している。

〈市長公室長〉各々の項目をいつまで要望するのかといった目処はあるのか。

〈企画調整部長〉以前から要望していた項目を削除すると、「要望しなくなった」と捉えられる懸念があるため、
継続して要望することは重要である。

〈企画課長〉JR 阪和線東岸和田駅周辺整備については、10 月に上下線ともに高架化する。このように、
着実に進んでいる事業もあり、継続した要望もその一助になっていると思われる。

〈大原副市長〉要望する時期はいつなのか。

〈企画調整部長〉10 月から 11 月頃である。

〈大原副市長〉10 月 22 日に JR 阪和線東岸和田駅周辺の上下線ともに高架化されることを踏まえると、要
望内容はこれでよいのか。高架化後に要望することになるのではないか。高架化だけでな
く周辺整備も含めての要望なのか。

〈企画調整部長〉平成 30 年度大阪府予算に対する要望ということを踏まえ、要望の内容を若干修正したほう
がよい。

〈企画課長〉周辺整備も含めた要望と考えている。要望する時期を踏まえ、内容を修正する。

〈大原副市長〉大阪府への要望事項の「交通体系の整備」について、「泉州山手線」「泉州山手線に内包さ
れる泉北高速鉄道」「泉州山手線に内包される公共交通」との文言があるが、結局何を要
望しているのか。

〈企画課長〉泉州山手線と泉北高速鉄道の2点について要望している。

〈大原副市長〉泉州山手線の実現に向けては、これまで大阪府と道路幅員等の都市計画変更等について協議し、その変更案を地元にも説明したといった経過があるが、泉州山手線だけでなく、泉北高速鉄道も含め要望していくのか。

〈企画課長〉泉北高速鉄道の延伸も含めた要望と考えている。

〈大原副市長〉この文言ではその意図が伝わりにくい。要望の内容を修正すべき。

〈企画課長〉承知した。

〈根末副市長〉指摘があった点を修正したうえで、政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、原案のとおり、政策決定会議に付議する。

※府要望について

- ①高架化事業については、書類提出時期(7月)と要望活動時期(11月)に時差があるため、それらを考慮した上で、「関連事業の推進」の文言を追加することとした。
- ②泉州山手線については、関係課と調整の上、文言の修正を行うこととした。

平成 29 年 6 月 27 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 企画調整部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	平成 30 年度 国家予算に対する要望について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	平成 30 年度国家予算の編成に向けての要望事項について、決定していただきたい。
説明者	上東企画課長 中井担当長 芝野担当員
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	平成29年度 第3回会議
付議事項	平成30年度 国家予算に対する要望

★取組の目的

対象	本市の国家予算に対する要望
どのような状態を目指す	本市の国家予算に対する要望を的確に各大阪府議会議員団に伝え、国において要望内容が可能な限り実現されることを目指す。

★総合計画上の位置付け

202010202	基本目標	Ⅱ－2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)行政の責務が果たされていることを市民が実感できている
	目指す成果	②明確な目標設定と評価により行政運営が行われている
	行政の役割	イ 時代を先取りした施策を積極的に推進する

★現状と課題

＜現状＞
国の財政状況の悪化により、国から本市への補助金が減少している。

＜課題＞
国からの補助金の減少は、本市事業の推進の遅延原因となるため、継続して国に要望する必要がある。
なお、要望事項については、本市独自の課題に精査している。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
各大阪府議会議員団を通じて、国に対し要望する。									
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源								
	その他								
事業費		計			H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
		0			0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性				H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
有	無							

★取組の効果を表す指標

	指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度	目標値				
						H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
①										
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。

平成 29 年 6 月 27 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 企画調整部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	平成 30 年度 大阪府予算に対する要望について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	平成 30 年度大阪府予算の編成に向けての要望事項について、決定していただきたい。
説明者	上東企画課長 中井担当長 芝野担当員
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	平成29年度 第3回会議
付議事項	平成30年度 大阪府の予算に対する要望

★取組の目的

対象	本市の大阪府の予算に対する要望
どのような状態を目指す	本市の大阪府の予算に対する要望を的確に各大阪府議会議員団に伝え、大阪府において要望内容が可能な限り実現されることを目指す。

★総合計画上の位置付け

202010202	基本目標	Ⅱ－2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)行政の責務が果たされていることを市民が実感できている
	目指す成果	②明確な目標設定と評価により行政運営が行われている
	行政の役割	イ 時代を先取りした施策を積極的に推進する

★現状と課題

＜現状＞
大阪府の財政状況の悪化により、大阪府から本市への補助金が減少しているほか、本市に係る大阪府の各種整備事業が進んでいない状況になる。

＜課題＞
大阪府からの補助金の減少は、本市事業の推進の遅延原因となり、大阪府の本市における各種整備事業の遅延は、市民の住環境等に大きく影響を及ぼすため、継続して大阪府に要望する必要がある。なお、要望事項については、本市独自の課題に精査している。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
各大阪府議会議員団を通じて、大阪府に対し要望する。									
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源								
	その他								
事業費				計	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
				0	0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性				H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
有	無							

★取組の効果を表す指標

	指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度	目標値				
						H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
①										
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。